C2麻雀ハウスルール

**◆基本ルール**

・ありあり（食い断あり、後付けあり）

・誰かが飛んだ時点でゲームオーバー

・オーラスでトップ目の親が流局時に聴牌の場合はゲームオーバー

・九種九牌（最初の配牌時に、数牌の1,9牌と字牌が9種類以上、かつ、それらの種類の牌が9枚以上手牌にあるときに宣言すると流局となるルール）は適用する

・四風子連打は流局とする

・四人リーチはそのまま続ける

・槓ドラ表示牌をめくるのは「カン」と発声したタイミング。暗槓も加槓も明槓も全て同じ扱い

・ダブロン・トリプルロン有。レンチャンの場合は一本場ごとに一人につき300点

◆以下はペナルティなし。すぐに直してゲーム続行する

・違う山から積もってしまう

・空チー・空ポン・空カン（発声のみで行為を行ってない場合）

・「ツモ」と発声すべき時に「ロン」と発声

・リーチ後のカンの間違い

・チー、ポン、カンの間違い。後で気が付いたら上がれないだけではなくポン・チー・カン禁止

・ロンの言い間違いは、メンゼンである場合はなかったことに

・ため息やぼやきなど、相手を惑わすのもギリありwww

◆以下はペナルティのなし。すぐに直してゲーム続行するが上がる事はできない

・フリテンで上がる

・多牌（14枚以上）少牌（12枚以下）

・リーチを間違えた時

・誤ロンで手牌を見せてしまった時

◆以下はペナルティ＋1 だが上がることはできる

・牌山及び手牌を手があたるなどしてあやまって2枚以上崩す（1枚だけならOK）

・先ヅモ （上家が捨てる前にツモって牌を見てしまった）

◆以下はペナルティ＋1 かつ上がることはできない

・アガリが出た後、点棒授受が完了しない内に山を崩してしまい、アガリ形や裏ドラが不明になった場合

◆その他◆

・チョンボはペナルティ2回目から発生する（※南場になったらリセット）

・罰則は満貫（子8,000点、親12,000点）

・ペナルティがついた局は、チョンボ者が親・子にかかわらずできる限りその局を続行する

・長考が度重なるプレイヤーに対しタイマーを使用できる（他プレイヤーのイラモードが限界に達した時）。20秒以上過ぎた場合、直ちに積もった牌を捨てる。積もった牌が手牌に混ざっている場合は、タイマーを押したプレイヤーが一番右の牌を捨てる

・パオの適用は、以下の2種類とする

（1）大三元→暗槓並びに副露した三元牌二種がある状態の者に、三種類目の三元牌をポン（大明槓）させた場合。  
（2）大四喜→暗槓並びに副露した風牌三種がある状態の者に、四種類目の風牌をポン（大明槓）させた場合。

・三麻の親決めは赤いサイコロのみを使用する